



柔軟性。当該分野の専門知識。 スムーズなサービス提供。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミック状況下で、ライオンブリッジの同時通訳サービスを通じて世界各国の参加者が多言語で意見を交わした Swiss Economic Forum の事例をご紹介します。

合計 15 時間にわたる同時通訳

12 年間のパートナーシップ

2 つの言語ペア

課題

2020 年の Swiss Economic Forum (SEF) のために、スイス国内および世界各国の 50 人の講演者と、さまざまな言語を話す 900 人もの世界各国・各界の意思決定者を対象とする同時通訳サービスを手配するにあたり、パートナーとしてライオンブリッジが SEF の運営担当チームにより選ばれました。当社ライオンブリッジは名高いカンファレンスである SEF と 10 年以上も提携を維持しており、ビジネス、学術、政治、メディアの各界における主要関係者同士が意見を交わす上で必須となる、世界最高クラスの同時通訳サービスを継続的に提供してきた実績がありました。

開催にあたっては、克服すべきいくつかの問題が想定されていました。たとえば、金融および経営管理の分野に精通した、高度な専門性を持つスイス人通訳者の確保です。こうした専門的な通訳者には、スイスの Montreux Music & Convention Centre で予定されていた専門的なプレゼンテーションやブレイクアウトセッションにおいて、非常に正確な通訳サービスを提供することが求められました。このような同時通訳の手配はどのような年でも困難ですが、特に 2020 年の SEF は COVID-19 のパンデミック状況下での開催ということもあり、手配には例年以上の難航が予想されました。

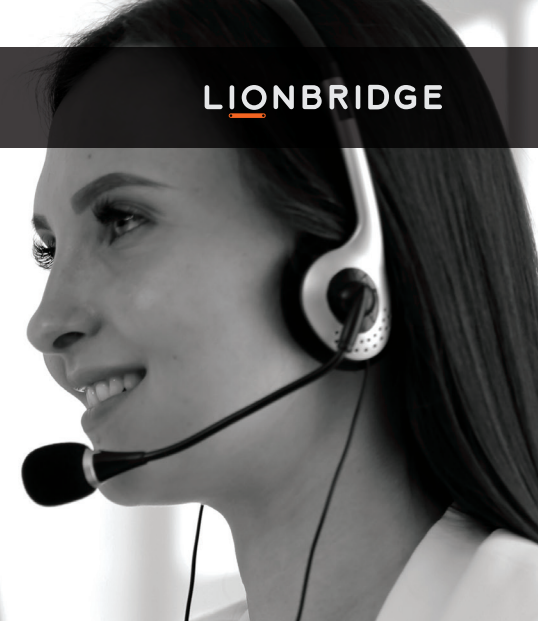
例年と異なり、SEF の運営担当チームはイベント開催を数か月にわたり延期し、参加者を 900 人に制限するほか、安全のための新しい感染対策を徹底する必要性がありました。このことはまた、同時通訳の実施方法にも影響を与えました。COVID-19 によるリスクの高まりにより、通訳者の確保は例年よりさらに困難となりました。こうした数々の制約や新しい課題に屈せず、ライオンブリッジは柔軟なアプローチで SEF を支援し、カンファレンスにおける世界各国の参加者の積極的な議論を促進するため、状況に対応した同時通訳の調整をサポートしました。

「同時通訳は、多言語が使用されるカンファレンスを成功に導くための鍵となる要素です。人々が世界中から集まり、今日の状況下でリスクを冒しながら対面イベントに参加する場合、その場で得られる体験に非常に大きな価値を求めはるはずですから」と語るのは、ライオンブリッジのアカウント管理部門でディレクターを務めるイザベル ブッシュです。「このことを考慮すると、今年のイベントでは例年にも増して高品質なサービスを提供することが重要でした。通訳者および SEF の運営担当チームと絶え間なくコミュニケーションを取ることで、感染対策を徹底し、パンデミックがもたらした課題を克服することができました」

お客様について

Swiss Economic Forum (SEF) はスイス有数の経済カンファレンスです。Stefan Linder 氏と Peter Stähli 氏によって 1998 年に創設されて以来、国際的な影響力を持つ、スイスでも最も重要なビジネスイベントとなるまでに発展してきました。ビジネス、学術、政治、メディアの各界のリーダーが開催地であるインターラーケンに集まり、活発な意見交換と業種を超えた人的ネットワークの構築を行う場となっています。

Swiss Economic Forum のプラットフォームとイニシアティブは、起業家精神にあふれる発想を奨励し、スタートアップ企業を積極的に支援しています。毎年 SEF 開催期間中、スイスの若い企業家にとって最も重要な賞である Swiss Economic Award が選定され、3 つの分野のそれぞれにおいて最も成功した、合計 3 社のスタートアップ企業に授与されます。



同時通訳とは

同時通訳とは、通訳元の言語である「ソース言語」での発話と同時進行で行われる通訳サービスです。同時通訳者は、外界の音を遮断したブースのなかでソース言語での発話をヘッドセットで聴き、その内容をターゲット言語（通訳先の言語）でマイクを通じて発話します。同時通訳サービスの利用者は、ヘッドホンを着用して自身の希望の言語での発話を聴きます。同時通訳には非常に高度な集中力が要されるため、通常通訳者は2名のチームを組み、定期的に交代しながら通訳を行います。

シンプルな図で見る成果

Swiss Economic Forum



さまざまな言語を話す
参加者への情報共有
の実現

高度に専門的な内容をドイツ語からフランス語へ、
そしてドイツ語から英語へと正確に通訳

プレゼンテーションとブレイクアウトセッションに
おける活発な意見交換を実現

COVID-19 がもたらした、通訳業務における課題を克服

ライオンブリッジの手法

プランニング

プロジェクトの範囲と成功の
基準を定義

合意に基づき役割と責務を決定

詳細なスケジュールと
コミュニケーション計画を作成

同時通訳のための技術的設備の手配や緊急時に従うプロトコルの作成を含む、
具体的なエスカレーションポイントに対応

複数の部門から構成されたチーム

2名のプロジェクトマネージャーと1名のアカウントエグゼクティブ

金融分野を専門とする4名の通訳者

1名の言語品質担当
マネージャー

コミュニケーション

ステータスレポートを
定期的に提出

セキュリティ要件やプレゼンテーション資料
などのクリティカルな要素に対し、
透明性を確保しつつ重点的に対応

情報を一元管理して
容易なアクセスを提供

ソリューション

ライオンブリッジの同時通訳ソリューションは、プランニング、複数の部門から構成されたチーム、コミュニケーションという3つの要素で構成されており、いずれもプロジェクトを成功に導くためには欠かせない要素です。

プランニング

2020年のSEFに向け、ライオンブリッジは2つの言語ペア（ドイツ語から英語、ドイツ語からフランス語）においてカンファレンスで合計15時間の同時通訳サービスを担当する、専門知識を持つ4名の通訳者を確保しました。プランニングの段階で、ライオンブリッジはSEFの運営担当チームと緊密に連携して、カンファレンスの講演者に対し、同時通訳者と協働して講演する際の最適な進め方に関するトレーニングを提供しました。

ライオンブリッジはまた、同時通訳者が事前に内容を十分確認できるように、講演者にプレゼンテーション資料をイベント当日の1週間前までに提供するように依頼しました。さらに、休憩の設定、通訳者の宿泊施設の手配など、運営面のあらゆる詳細にも細心の注意を払って計画を作成しました。

複数の部門から構成されたチーム

ライオンブリッジの複数の部門から構成されたチームは、シームレスなサービス提供を実現できるように、イベント管理のプロセスに合わせてチームの調整を行いました。プロジェクトマネージャーとアカウントエグゼクティブは、プロセスおよび予算をモニタリングして舞台裏から通訳サービスを支えたほか、イベント終了後にはパフォーマンスレビューも実施しました。

これらの担当者は、ライオンブリッジの品質管理システムがSEFの品質要件を満たせるよう、品質管理プランを策定、実施、管理しました。また、品質の一貫性を維持するため、過去6年間にわたりSEFを担当してきた通訳者を選定しました。選定された通訳者はスイスドイツ語を深く理解しており、今回のプロジェクトに適任でした。さらに、母語がターゲット言語に対応していたことに加え、金融および経営管理の分野における専門知識に精通していることも言語品質担当マネージャーが確認しました。

ライオンブリッジがスイスの銀行各行に幅広くサービスを提供していたことも通訳者選定のプロセスにおいてプラスに働き、このプロジェクトに最適な通訳者を確保する上で非常に役立ちました。

コミュニケーション

ライオンブリッジは、イベントに向けた準備の進捗を常時SEFと共有するとともに、SEFと通訳者の間で円滑なコミュニケーションが行われるよう支援しました。



Corine Blesi
Geschäftsführerin SEF

COVID-19 に対応するための調整

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ライオンブリッジとSEFは各種の規制や安全確保のための新しい要件を遵守するため、以下のような点で変更を行う必要がありました。

- 通訳者の安全性を高めるため、ブースの消毒およびブースに関するその他の変更を実施
- 通訳者に対し、公共スペースでのマスク着用とソーシャルディスタンスの励行を指示

ライオンブリッジは通訳者に対し、これらの変更への対応を支援し、安全確保のための対策の遵守の必要性を強調したほか、SEF運営担当チームもそれらの感染対策を徹底することを明確に伝えました。事前にこのような対応を行うことで、通訳者が会場でサービスを提供する際に最良のパフォーマンスが得られるよう環境を整えました。

結果

ライオンブリッジの同時通訳サービスを活用することで、スイス屈指の経済カンファレンスは今年、さまざまな言語を話す多くの参加者が業種、そして言語の垣根を超えて意見を交わす素晴らしい場となりました。

SEF のプレゼンテーションとブレイクアウト セッションは、ライオンブリッジがフランス語と英語の両方で提供したスムーズな同時通訳サービスにより、世界各国の参加者から好評を得ることができました。SEF が開催するカンファレンスにおいて 10 年連続で同時通訳サービスを提供してきたライオンブリッジは、COVID-19 による制約に適切に対応し、2020 年のイベントを成功させるための最適な通訳者を確保しました。

「パンデミック状況下で同時通訳サービスを提供するのは決して容易なことではありません。当社が非常に迅速にサービスを手配できたのは、スイスの市場における 20 年を超える経験があったからです」とブッシュは振り返ります。「COVID-19 への対応が必要な状況下でも、よりゆとりのある状況下でも、いつでも変わらない品質のサービスをお客様にご提供できるのです」

“ライオンブリッジは、この複雑で重要なプロジェクトにおける要件を満たすため、迅速に手配を進めてくれました。通訳者はプロ意識が高く、翻訳の品質も素晴らしく、おかげでさまざまな言語を話すカンファレンス参加者の間で価値のある相互作用が生まれ、実りのある環境を提供できました。ライオンブリッジとの間に築き上げてきた長年のパートナーシップは非常に素晴らしいものです。COVID-19 によるさまざまな困難にもかかわらず、今年のサービスも例年と変わらず効果的でした。”

SEF、オペレーション部門チームリーダー/プロジェクト リーダー、Michael Hebeisen

ライオンブリッジのイベント同時通訳サービスは、現地およびリモートのいずれでもご提供可能です。

詳しくはこちら
[LIONBRIDGE.COM](https://www.lionbridge.com)